



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信

上天草総合病院理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたこころあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部(直通)
 電話:0969-54-7373 FAX:0969-62-1547
 住所:866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19
 電話:0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)
 URL: <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>
 Eメール: kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp
 発行責任者:地域医療支援部長 細川 貴規



くまもとメディカルネットワークに参加しませんか？

～上天草の参加施設2020年から約2倍！～

(第20回上天草総合病院地域連携会議にて報告)

情報管理室 森口 元気

くまもとメディカルネットワーク(以下「KMN」)とは、熊本県の補助事業として熊本県医師会が運営しており、県内の病院・診療所・歯科診療所・薬局・訪問看護ステーション・介護関係事業所・在宅施設などで参加者(患者さん)の診療・調剤・介護に必要な情報を共有することにより、質の高い医療・介護サービスに活かすシステムです。上天草市の医療・介護関連施設・薬局等の参加施設数は18施設(2022/11/15現在)、上天草市民の参加者数は1197名(2022/11/15現在)と、2020年からそれぞれ約2倍に増加しております。参加医療機関の診療情報は、県医師会内のセンターサーバーに保管され、参加者の同意が得られた参加施設からのみ参照することができます。参加施設には以下のようなメリットがあります。

▼参加医療・介護関連施設3つのメリット

①医療機関の診療情報を随時閲覧可能

・参加者の閲覧同意が得られると、医療機関等の処方・注射・検査結果・放射線画像等(医療記録は除く)が閲覧可能となります。迅速な医療介護情報の共有が可能となることで、質の高い医療・介護サービスを継続して提供できます。

②チャット・トピック機能で多職種連携

・複数の医療介護施設、在宅関連事業所など多職種で在宅サポートを行う場合、チャットやトピック機能を用いて情報共有ができます。電話だけでなく空いた時間にKMNで情報を確認できるため生産性が向上します。

③参加施設間で公文書・静止画・動画等の送受信が可能

・診療情報提供書や訪問看護指示書などの公文書を電子署名付きで送付することができます。放射線画像やADLに関する動画など大容量(1ファイル650MBまで)の情報をKMNで送受信できるため、郵送する手間とコストが省けます。

▼当院のKMN活用事例をご紹介します。



■事例①退院前の褥瘡写真、食事動画を事前共有により入所施設の受入準備を効率化【症例】90代男性、特別養護老人ホーム入所中の方で、誤嚥性肺炎を発症し当院紹介入院。入院時右大腿部褥瘡あり。【KMN】退院調整時に入院中の褥瘡経過記録と褥瘡写真を生活情報ビューア機能で共有。入所施設希望により介助食風景を動画撮影し共有しました。【利用者の声】写真や動画で参加者の状況を確認できるため受入時の対応をイメージしやすいです。



■事例②訪問看護ステーションとの文書送受信を電子化して効率化【旧運用】訪問看護ステーションで訪問看護指示書作成依頼書と返信用封筒を同封し病院へ郵送。病院側は、医師が指示書を作成後、返信用封筒に入れて郵送。【KMN活用後】訪問看護ステーションはPDFの指示書依頼作成をKMNで病院に送信。受信を確認した病院側は医師が指示書を作成後、KMNで電子署名したPDF指示書を返信。【効果】KMNで送付した場合、郵送代が無くなり、依頼書や指示書は送信後すぐに確認できるため郵送と比べ時間短縮に繋がっています。今後も多くの皆様に参加して頂くことが上天草市の医療情報基盤を整えることに繋がりますので、参加登録のほどよろしくお願いたします。

※施設参加登録等の詳しい情報は、
 熊本県医師会：くまもとメディカルネットワークホームページをご確認ください。



第21回上天草総合病院地域連携会議(研修会)

～天草地域での感染症診療で外せないマダニ媒介性感染症～

【日本紅斑熱と重症熱性血小板減少症候群(SFTS)】

感染防止対策室室長 和田 正文

マダニ媒介性感染症は、かつては西日本を中心に温暖な地域に発生していましたが、中日本地域にも拡大し、都市部でも報告されてきています。先日、感染症学会(西日本地方会学術集会、中日本地方会学術集会、日本化学療法学会西日本支部総会)にて感染症入門講座として講演して参りました。その際の「日本紅斑熱」と「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」についてお話いたします(図1)。

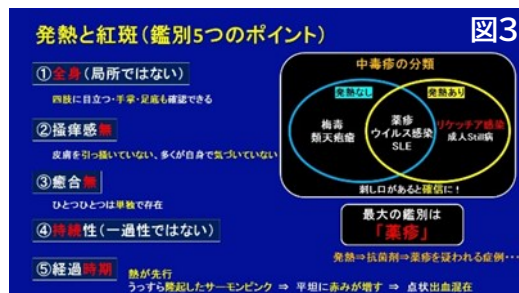
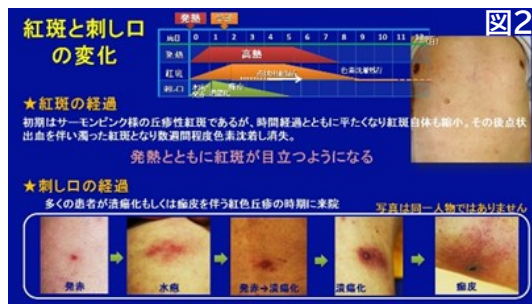


日本紅斑熱は発熱と全身にかゆみを伴わない紅斑を認める疾患で、治療はテトラサイクリン系抗菌薬で著効します。近年は死亡者数が増加傾向にあります。

SFTSは発熱、嘔吐や下痢、腹痛等の消化器症状を呈し、ショック、急性呼吸促進症候群、意識障害、腎障害、DICを併発し重症化することが多く、治療は対症療法中心です。死亡率は10~30%と高く、集中治療を提供可能な病院での診療が望まれます。

全例ではありませんが両疾患ともにマダニによる刺し口痕を発赤や水疱、多くが痂皮状態で発見できます。診断確定は管轄保健所を通じ衛生研究所等で「刺し口痂皮」や「血液」のPCR検査、急性期及び回復期のペア血清で抗体検査を行います。実際の臨床の場では様々な発熱疾患を除外し、早期から適切な医療介入をすることが重症化を防ぐ一歩となります。

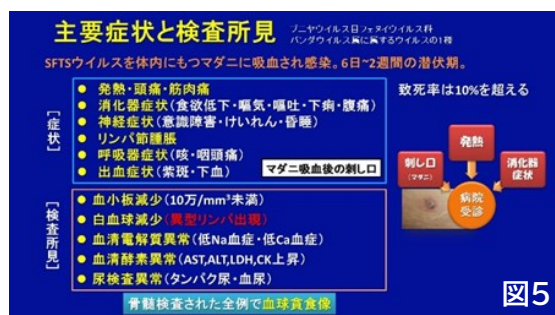
日本紅斑熱は発熱と紅斑を呈するため視診にて疑うことができ、薬疹等の紅斑を来す疾患を除外し診断していきます。発熱と紅斑(鑑別5つのポイント)として、①全身・四肢に目立つ②掻痒感が無い③癒合していない④持続性⑤経過時期(熱が先行し、うっすら隆起したサーモンピンク⇒平坦に赤みが増す⇒点状出血混在)、最大の鑑別は薬疹です(図2,3)。



刺し口は、かゆみ・痛み等の違和感があり、無意識に引っ掻いているのが特徴です。下肢が多く、下から上に向かって、最後に陰部を探すと効率が良いです。眼瞼周囲の浮腫、目尻のしわが消失し、風邪に似てはきつそう・しわがある年代なのにならないといったことも気づきのポイントです(図4)。



血小板とNa・Ca値低下、尿蛋白・潜血陽性、Dダイマー上昇し、肝酵素は発症数日で上昇してきます。またSFTSは皮疹が出現しないため、血液検査(高度な白血球・血小板減少)リンパ節腫大、多臓器不全を含め全身的・総合的な判断が必要です(図5)。



CTを撮影するとリンパ節腫大があり、その周囲に刺された後があることが多いです。SFTSは日本紅斑熱と比べ、白血球(好中球)低下、CRPはほぼ正常、肝酵素・筋酵素はさらに高値、血小板数はさらに低下していることが鑑別です(図6)。

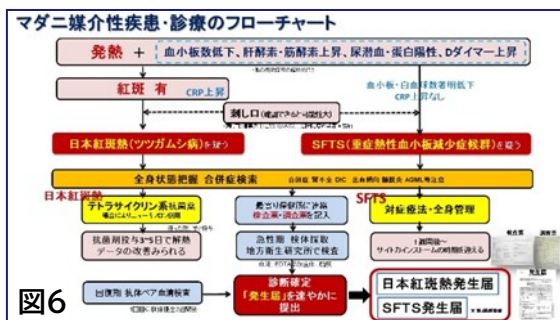


図6

私事ですが、「第60回喜多方発感する漢字あそび」でお題『すばらしい』で、大賞を頂きました。読み「スタンディングオーバーション」、意味「褒めたたえること。拍手喝采。よっ、日本一。」ちょうど、マダニが前脚を広げて動物を待っている姿を彷彿とさせてくれます(図7,8)。



図7



図8

くまもとメディカルネットワークおよび連携会議について問い合わせや当院へのご意見、また在宅医療についてのご相談も上天草地域在宅医療サポートセンターへご連絡ください。



年末年始の外來診療について

12月29日(木)から1月3日(火)まで
外來診療は休診となります。
急患の方は、救急外来で対応いたします。

研修会・勉強会の行事予定表

12月9日(金)	(学研・基礎研修) ナースコールにも慌てない！ チームで多重課題に立ち向かえ	15:00～ 当院6階講堂
12月16日(金)	心臓リハビリテーション教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、 開催は中止します。	14:00～ 当院6階講堂
12月23日(金)	がんサロン 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、 開催は中止します。	13:30～ 当院6階講堂

編集後記

○1題目は、当院も参加している、デジタルネットワークの1つKMNについてです。最近、こちらの活用が増加傾向であり、情報管理室主任の森口氏に、投稿頂きました。メリットは、紙面をお読み下さると分かりやすく、具体例を引用しながら、利便さ・省コスト化について紹介されています。救急救命の場でも、重症の症例を、デジタル情報を提示し、ドクターヘリでの搬送・救命をして頂く事も多くなってきました。KMNは、情報管理室・地域連携室ともに進めてゆく所存です。

2題目は、感染防止対策室の和田先生から、天草地域のリケッチア感染症(日本紅斑熱・SFTS)の研修会内容を、見開き2面で、スライドを織り交ぜながら提示して頂きました。日本紅斑熱・SFTSとも、挿し口が分かりにくい、或いは人目を避けているのか?と思う様な所を刺していたりします。2疾患を疑う目を持ち、疑いの時点から治療を開始する事が、救命につながる第一歩です。

早いもので師走、本年は今号が最終になります。皆さま、本年は、ありがとうございました。良いお年をお迎えください。(細川)

12月 診療案内

※は、熊大応援医師

	月	火	水	木	金	休診日
内科	和田 正文 林 広隆 松岡 隼平	岸川 秀樹 和田 正文 中村 太造 ※松田 圭史	林 広隆 松岡 隼平 中村 太造	和田 正文 細川 貴規 ※高柳 宏史	岸川 秀樹 細川 貴規 松岡 隼平	
	※12/2(金)の松岡医師の外来診療は休診となります。					
代謝内科	※阪口 雅司	—	—	岸川 秀樹	※小野 薫 (第3・5) ※大津 可絵 (第1・2・4)	
脳神経内科	—	—	—	林 広隆	—	
	※毎週木曜日、予約制の診療(午前)となります。					
腎臓内科	—	—	細川 貴規	—	—	
循環器内科	脇田 富雄	脇田 富雄	—	※荒木 智	脇田 富雄	
外科	高塚 二郎	—	高塚 二郎	—	—	
小児科	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	船曳 哲典 ※檜村 哲生 (第1・3)	船曳 哲典	
整形外科	藤松 晃一	※上原 悠輔	藤松 晃一 (再診のみ) 村上 直也	藤松 晃一	村上 直也	
	※12/5(月)、12/7(水)、12/8(木)の診療は村上医師の診療となります。 ※毎週火曜日の診療開始は10時50分からとなります。 ※毎週水曜日の藤松医師の診療は再診のみとなります。					
耳鼻咽喉科	—	※熊大	—	※熊大	※熊大	
眼科	栗井 麻衣子	竹下 哲二	古島 京佳	竹下 哲二	古島 京佳	
皮膚科	—	—	—	江頭 翔	—	
泌尿器科	—	西 一彦	—	—	西 一彦	
超音波・ 内視鏡センター	石山 哲	石山 哲	※松野 健司	高塚 二郎	※蔵野 宗太郎	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
	※午後は、13時～16時30分までの受付です。					
教良木診療所 応援	林 広隆 (午後)	村上 直也 (午後)	応援	応援	松岡 隼平 (午後)	
御所浦診療所 応援	竹下 哲二 (午前)					

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分までです。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※診療案内は都合により変更となる場合があります。ご了承ください。